

■患者アドボケイト・ラウンジ ご参加にあたっての注意点

1. はじめに

- 日本緩和医療学会は、がんやその他の治癒困難な病気の全過程において、人々のQOL（生活の質）の向上を目指し、緩和医療を発展させるための学際的かつ学術的研究を促進し、その実践と教育を通して社会に貢献することを目的とする学術団体です。学術大会は、学会員が研究の成果を発表し、議論する場であり、緩和医療の更なる向上を目的に開催される年次大会です。
- 2017年は国の第3期がん対策推進基本計画が開始される節目の年であり、さらに、がん罹患状況や社会・福祉など環境の変化、高齢化によるがん多死時代の到来、非がん疾患に果たす役割、社会への啓発活動と現実とのギャップなどの状況があることを踏まえ、緩和医療に関わる医療者のみならず、緩和医療に関心のある患者、家族、市民の皆様にも学術大会に参加していただくことで、緩和医療をより良いものとしていくことを目指し、2017年の学術大会より新たに患者アドボケイト・ラウンジ（PAL：患者家族参画プログラム）を開始しました。
- 学術大会の内容は、医療者などの学会員を対象とした高度かつ専門的なものであり、研究段階のものも含まれます。また、緩和医療は患者の身体的、精神的、社会的、霊的（スピリチュアル）な痛み、生と死に関わる医療であることから、学術大会で発表される内容の中には、患者や一般の方にとっては時に辛く感じられる可能性がある内容が含まれます。PALに参加いただく際には、緩和医療学会とその学術大会の意味をご理解いただくとともに、この募集要項をよく読んだ上でご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

2. PALの目的

- 患者・家族・遺族を支援する団体運営者または個人が、内外の緩和医療に関する知識と最新の情報を得ていただくこと。
- 学術大会への参加で得られた知識や情報をもとに学術大会参加者との対話を深め、緩和医療の普及・啓発・向上と患者・家族・遺族を支援する活動に活かしていただくこと。

3. PALの概要

- 参加者は、第22回日本緩和医療学会学術大会に参加費3,000円で参加できます（23日または24日のいずれか1日の参加も可能です）。PAL受付は6月23日（金）8:00～18:00、6月24日（土）7:30～15:30で、第7会場前（パシフィコ横浜会議センター3階315）にございます。ご来場されたら、まずはPAL受付にお越し下さい。そこで参加費3,000円と引き換えに参加証、ネームホルダー、PALの抄録集等をお渡しいたします。
- 参加者は、第22回日本緩和医療学会学術大会でのセッションの聴講と、ポスター会場でのポスターの閲覧ができます（企業等がスポンサーとなって開催されるセミナーや展示等を除く）。
- 参加者は、PALの抄録集が配布されます（医療者用抄録集は、企業広告が掲載されているため、原則として販売いたしません）。
- PAL参加者を対象としたランチョンセミナーにて軽食が提供されます。

4. 応募資格

- がんや緩和医療に関わる疾患の患者・家族・遺族を支援する団体運営者または個人であること。
- PALの目的を理解し、募集要項の内容と日本緩和医療学会からの指示を遵守すること。
- PALへの参加にあたり、PALポスター会場にてポスターセッション発表（事前にポスターに関する抄録

を提出することを含む)を行うこと(「タイプA」参加者のみ)。

- 学術大会期間中に、「PALオリエンテーション」「PALランチョンセミナー」「PALポスターディスカッション」に出席すること。
- PALへの参加後に、学術大会で得られた知識や情報をもとに、緩和医療の普及と啓発、緩和医療や患者・家族への支援を向上させるための活動を行い、そのフィードバックに関する書類を提出すること。
- 特定の治療法、代替療法、健康食品等を推奨する団体の運営者または個人でないこと。
- 特定の政治団体、宗教団体を支持する団体の運営者または個人でないこと。
- 上記応募資格をお守りいただけない場合、禁止とされている事項を遵守いただけなかった場合、学術大会の運営や他の参加者の妨げとなる行為があった場合には、次年度以降のPALへの参加をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

5. PAL参加者の受付・参加にあたって

- PAL参加者は、PALオリエンテーションを1回は必ず受けるようお願いいたします。
- PALオリエンテーションやPALランチョンセミナーなど、参加必須のプログラムでは、受付でのチェック(参加の確認)があります。受付でのチェックを必ず受けるようお願いいたします。
- PAL参加者にはアンケートを配布しますので、最終日までに記入と提出をお願いいたします。

6. 学術大会でのPAL参加者の発言について

- 主催者や座長の許可がある場合に、学術大会のセッションやプログラムで発言や質問をする際は、個別の患者さんやご家族の治療や療養に関する質問を行うことはご遠慮ください。
- 学術大会のセッションやプログラムで発言や質問をする際には、自身の「所属と名前」を名乗った後に、概ね1分以内で質問や意見を簡潔にお話してください。お一人で長い時間にわたり発言や質問をすると、「他の参加者にとっても貴重な時間を奪っている」こととなります。

7. PAL参加者の服装とマナーについて

- 移動に適した服装や靴を選びましょう。ただし、カジュアルに過ぎる服装は避けましょう。
- 学術大会会場では他の参加者の迷惑とならないように、大声で会話をするのは慎み、学術大会のセッションやプログラム参加中は、携帯電話をマナーモードにしましょう。

8. 医療者との接し方

- 学術大会では、参加している医療者も、自身の発表や準備などをしなければならない場合があります。通路で長時間にわたり質問をしたり、足止めをしたりしないようにしましょう。
- 学術大会会場で医療者と会話をする場合には、医療者に時間があるかを確認したうえで、簡潔に話すようにしましょう。

9. 体調や気分が悪くなった場合について

- ご自身の体調については無理をせず、ご自身の責任にて体調管理をするように努めてください。
- 万が一、体調や気分が悪くなった場合には、お近くの学術大会スタッフに声をかけてください。

10. PAL参加者の禁止事項について

- 学術大会のセッションやプログラム（講演、シンポジウム、ワークショップ、委員会企画、交流フォーラムなど）において、主催者や座長の許可がある場合を除き、PAL参加者からの発言や質問は禁止されています。
- PAL参加者は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」との関係から、企業等がスポンサーとなって開催されるランチョンセミナー、スイーツセミナー、スポンサードシンポジウム、ケアカフェには、参加が禁止されています。
- PAL参加者は、薬機法との関係から、企業等がスポンサーとなって展示されるブースへの立ち入りが禁止されています。
- 学術大会のセッションやプログラムの一部については、PAL参加者が参加できないものがあります。学術大会会場での掲示に従ってください。
- 学術大会のセッションやプログラム、ポスターについて、主催者や座長、発表者の許可がある場合を除き、写真撮影や録画、録音は禁止されています。
- SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）等での発信を含め、参加者および学術大会関係者の個別の発表や発言について発信する場合には、学術大会の取材規定に従ってください。
- 緩和医療はその研究において、個々の患者さんの詳しい病状や経過、気持ちや背景などを対象とする場合があります。学術大会での発表にあたり、氏名などの個人情報保護されていますが、個々の患者さんのプライバシーに関わる内容が含まれる可能性があります。学術大会で発表された個々の患者さんのプライバシーに関わる内容について、PAL参加者はその内容を公表しないようご注意ください。

11. PAL参加者の出席が必須となるプログラムについて

- 体調不良などのやむを得ない理由で欠席、遅刻、早退をする場合には、必ず学術大会のPALプログラム運営事務局にご連絡ください、自己都合や無断での欠席、遅刻、早退があった場合には、次年度以降のPALへの参加をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

セッション名	日時	場所
PAL オリエンテーション (いずれか1回を受講すれば可)	6月23日(金) 8:30~8:45	第7会場 (会議センター 315)
	6月23日(金) 12:20~12:35	
	6月24日(土) 8:00~8:15	
PAL ランチョンセミナー 1	6月23日(金) 12:35~13:25	第7会場
PAL ポスターディスカッション 1	6月23日(金) 13:40~14:00	国立大ホールマリノロビー
PAL ランチョンセミナー 2	6月24日(土) 11:50~12:40	第7会場
PAL ポスターディスカッション 2	6月24日(土) 12:50~13:10	国立大ホールマリノロビー